

第253回 番組審議会

1. 日 時 平成28年6月14日(火) 12:00～
2. 場 所 メトロポリタン盛岡NEW WING 3F「星雲 東の間」
3. 委 員 委員総数 10名
出席委員数 8名(欠席委員数 2名)

○ 出席委員(敬称略)

九萬原 敏巳(副委員長)

—以下50音順—

石田 征広

加藤 裕一

久慈 浩介

斎藤 純

菅原 正二

八木橋 伸之

吉田 浩次

○ 会社側出席者(7名)

佐藤 滋樹 (代表取締役社長)

小原 忍 (取締役副社長)

藤原 銀司 (常務取締役報道局長)

前田 秀男 (取締役技術局長)

工藤 浩 (取締役営業局長)

青田 優 (編成部専任部長)

東谷 仁史 (東京支社)

○ 事務局 佐々木 久仁子

4. 議題 『平泉から奄美へ！世界遺産のナゾを追え！いくぞ！好奇心キッズ』

平成28年 5月21日（土）14：00～14：55

5. 議事概要

今回は、5月21日放送の「平泉から奄美へ！世界遺産のナゾを追え！いくぞ！好奇心キッズ」を審議しました。議事の概要は、以下の通りです。

●岩手めんこいテレビ編成部青田優専任部長からの説明

・この番組は、系列局である鹿児島テレビと共同で企画制作し、鹿児島テレビが幹事局となって制作した。テレビ局には、自局のエリアの魅力を県外に伝える、発信するという使命もある。番組を交換して放送することで放送エリアの拡大と制作番組のマルチユースと考えている。

・番組も交換するけれども、出演者・子供達を交換留学という形にし、訪れた子供達の目線を通して自局エリア、他県の魅力を紹介したいと思った。第2弾は、8月上旬に平泉、盛岡で撮影し8月中下旬頃に放送の予定。

●岩手めんこいテレビ東京支社東谷からの説明

・平泉金色堂の螺鈿（らでん）細工に奄美大島のヤコウガイが使われていた可能性が高いということに注目し、今回の企画を立てた。気候も文化も違う岩手と鹿児島では、接点が無さそうな地域だが、もしかしたらヤコウガイを通じてシェルロードで繋がっていたのではないかということでテーマに設定した。

・内容は、分り易く、様々な世代の方に興味を持ってもらえるように、平泉、奄美の子供達が「キッズ調査隊」として謎を解く設定にし、隊長は、難しくて硬くなりがちなテーマを和らげ楽しい番組になるようにと、お笑い芸人の品川庄司の庄司智春さんをキャスティングした。また、金色堂の謎に迫ることが番組の柱ではあるが、初めて訪れる土地での交流を通じ

て子供達の表情や成長を描くドキュメンタリーの側面も取り入れるようにした。2回目の放送では、子供達の表情をもっと出せるように工夫していきたい。

●出席した委員からの意見

・座学から入ったので、子供達が引いていた。貝を獲って、食べてみて、子供達から率直な感想が出ていたので、そちらを先に持って来た方がよかったのではないかな。

・紹介する順番が逆。謎を追うのであれば、謎を提出しなければならないのに、ヤコウガイという答えを最初に出して種明かしをしてしまい、すごく勿体ないと思った。

・子供達が活かされていない。大人の仕切りじゃなくて自由に伸び伸び、こっそり何かやっているところがあると新鮮だった。

・内陣の螺鈿細工こそが、金色堂の見せ場。螺鈿細工にスポットあてたことは、でかしたと思った。

・知的好奇心をくすぐるような作りが、すごいなと感じた。

・キッズ調査隊の隊長・庄司智春さんについて、どのような人なのか説明があると良かった。

・子供達が海で大はしゃぎしているシーンがなく、物足りなさを感じた。

・子供達の好奇心が一番の見せ場。子供達がどんなことを好奇心として持っているのか、導入部分に問題があったのではないかな。せつかくの企画が面白くないと感じた。

・庄司さんは、お笑い芸人だったら子供達をもっと笑わせてもいいのに、持って行き方、進め方、子供達の引き寄せ方の工夫が今ひとつ足りない、リアクションがないという印象が残った。

- ・それぞれのエリアの魅力を紹介することは大事。奄美大島の魅力をもっと見せても良かった。
- ・全体として丁寧な作りだが、もう少し遊び心があっても良かった。
- ・奄美の太陽や光が溢れているところで撮ったほうが良かったように感じた。
- ・奄美の子供達の役割、平泉の子供達の役割が一緒になっていた。今回は、奄美の子供達が地元を紹介するという役割だったのではないか。
- ・番組の企画力、発想はとてもすばらしく関心を持って見た。
- ・ヤコウガイについて、博物学の視点、漁師さんの漁業や料理の面など、いろんな角度からアプローチを試みていて、子供達の興味を引きつけるという面でも構成に工夫がなされていた。
- ・金色堂の螺鈿細工の素材は奄美大島さんのヤコウガイである」というテーマが、どこまで真実でどこまで推測なのか明瞭に示されず、番組全体の説得力がぼやけていた。
- ・岩手の子供たちが奄美大島に行く前に、3人で疑問をまとめ、奄美大島の子供たちとどこで何を調べるかを前もって相談し計画を立て、それを実行するような企画もあったと思う。

6. 審議機関の答申又は改善意見に対してとった措置

特になし

7. 審議機関の答申意見概要を公表した場合におけるその公表内容、方法及び年月日

※平成28年6月15日（水） 産経新聞 東北版

※平成28年6月25日(土) 午前4時12分から4時15分まで「めんこいテレビ番審
レポート」として放送。

※据え置き書類を作成し、本社受付に置き一般の人々が自由に閲覧できるようにした

8. その他の参考事項

特になし

※次回は、平成28年7月12日(火) 12時より 当会場にて開催予定です。